

中央公民館だより

そろそろながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.187



**公民館に併設の「長門市物産観光センター」から
市民活動支援センター『市民サポートながと』へ！**



**内装をリニューアル、おしゃれで居心地のいい空間へ
サークル活動後のおしゃべり空間としても利用できます**

室町時代に創建された大寧寺は、守護大名・大内氏と深い繋がりがあ
りました。今回は大寧寺と特に縁の深い大内義隆を紹介します。

大内義隆は、大内義興の子として生まれ、享禄元年(一五二八)に大内
氏の当主となりました。当時の大内氏は、周防国山口を中心に中国地方
西部と九州北部を勢力下に置く西日本屈指の大名であり、東アジアとの
貿易により豊かな財力を有していました。家督を継いだ義隆は、山陰の尼
子氏や九州の少貳氏と戦い、大内氏の勢力拡大に努める一方、学問・芸
能の振興にも力を注ぎました。また、義隆は朝廷の位階においても、天文
十四年(一五四五)に正三位、天文十七年(一五四八)に従二位に叙せら
れ、当時の室町幕府將軍の位階を上回って武家の最高位になりました。

このように義隆のもと最盛期を迎えていた大内氏ですが、内部では重臣
層と側近層の間で対立が生じていました。そして、天文二十年(一五五
一)、陶隆房(後の晴賢)を中心とした重臣層が謀反を起します。謀反に
より山口を追われた義隆らは仙崎までたどり着き、そこから海路で九州
に逃れようとしています。しかし、海が荒れていたために船を出せず、大寧寺
に入りました。そして、義隆は、大寧寺住持の異雪慶殊と対談、同行者た
ちと歌(※)を詠んだ後、自害しました。

義隆終焉の地である大寧寺には「大内
義隆主従の墓所」(山口県指定史跡)があ
ります。また、ヒストリアながもでも義隆
の最期が記された「大内家略系図」(上利
家文書)を四月下旬まで展示しています。
これからの春の行楽シーズン、大寧寺とヒ
ストリアながもに是非お越しください。

※辞世の句は、「討つ者も 討たるる者も
諸ともに 如露亦如電 応作如是観」と
伝わっています。



大内義隆主従の墓所

わが家の宝子



なかはら ひびき 響貴くん(11ヶ月)
中原

よく食べて、よく動くやんちゃ坊主です。
はやく大きくなってお兄ちゃんとサッカーを
したいです。

今月のうた

山茶花クラブ

見るほどに松煙墨の花蔭

真夜中の産声とどけ冬銀河

冬銀河テールライトの並ぶ丘

長門短歌会

二人して一つ灯して寄添える

元の他人も八十路となりぬ

寒い夜月の姿を目に追えば

雲の間に間にこぼれる光

言いきかす訳なき不安おしよせて

今日一日が無事ならよしと

山田 耕司

中村 瀧江

吉村 佳子

佐貫 勝代

原田 満江

吉富 成子

吉富 成子

深川地区の人口

世帯数	5,938	(-20)
男性	5,688	(-13)
女性	6,559	(-16)
計	12,247	(-29)

(R5年2月1日現在)

中央公民館 3月の行事予定



4(土)	子どもクラブ
4(土)・18(土)	キッズエクササイズ(3B体操)
7(火)	長明塾
8(水)・22(水)	親子でJミックス
11(土)	わくわく土曜塾
21(火)・祝	「春会～はるかひ～」
28(火)	深川友愛学級(研修旅行)

編集後記

▼「一月は行く、二月は逃げ
る、三月は去る」といいます。
正月から三月までは年度の切
り替えに向けた行事が多く、
あつという間に過ぎてしまいま
す。四月から公民館で勤務し
一年が過ぎ去ろうとしています。
この公民館での出会いに感
謝しながら、また新たな気持
ちで頑張ります。(敬)

市民活動支援センター（市民サポートながと）スタート！

2月1日（水）、旧長門市物産観光センターが市民活動の中核的支援拠点となる長門市市民活動支援センター（愛称：市民サポートながと）として新しく生まれ変わりました。

市民サポートながとでは、これまで長門市が進めてきた市民活動を更に活性化するため、市民協働の視点から、市民活動推進課との両輪で地域づくりや市民活動団体のサポートに取り組んでいきます。

1階に設置された活動支援・交流スペース（開館時間10時～18時30分）は、市民の方が気軽に入れる空間創りをコンセプトに、カフェのような雰囲気、整備され、主に地域づくり協議会や自治会、NPOなどの市民活動団体の相談、会議等で使用出来るほか、ボランティアなどの社会貢献、地域貢献に参画したい個人が相談、自学なども行えるようになっていきます。

2月4日（土）には、オープニングイベントも実施され、開所式では、みのり保育園年長児による合唱、ダンスの披露があり、その後、主催者の江原市長と来賓者によるテープカットが行われました。また午後からの開設記念講演では、特定非営利活動法人岡山NPOセンター代表理事石原達也氏の講演や、地元出身のモデル、TAKKAさんを招いたトークショーなどが開催されました。

市民サポートながとでは、市民活動に取り組みたい方の来所をお待ちしていますとのことでした。

交流スペースにいらつしやる活動支援員のお二人にインタビューしました。

Q この交流スペースは予約が必要ですか？

A 今年3月までは多くの方にこの施設を知っていただくために、予約なし・無料でご利用いただけます。4月以降は予約のルールなどは変わるかもしれませんが、交流スペースは基本的に無料です。

Q 交流スペースの使い方は？

A 無料Wi-Fiはもちろん、モニターやプロジェクター、電子黒板の使用も可能です。ソファや座布団のあるフリースペースでは、お子さんと一緒にくつろぐこともできます。さらに、飲食も可能です。先日は高校生の団体が、お菓子を食べながらワイワイ会議をされていました。



「ふあみ」文部科学大臣表彰

長門市の子育て支援ボランティアグループ家庭教育支援チーム「ふあみ」が令和4年度優れた「早寝早起朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。この受賞は、全国で51団体、山口県内からは2団体でした。

毎年「ふあみ」の活動の一環として、市内小学校の就学時健診時の保護者交流会において「早寝早起朝ごはん」を含む生活習慣についての講話をしています。昨年は、「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しており、2年連続の受賞となりました。



深川友愛学級「相続と争族」

2月14日（火）、深川友愛学級の第5回「学ぼう会」を開催しました。今回は、講師に明治安田生命山口支社教育育成課長 林美代子さんをお迎えし、「基礎から学ぶ相続対策〜令和時代のふたつの『そうぞく』と題し」講話をいただきました。

ふたつの「そうぞく」とは“相続”と“争族”。ある家族を例に分かりやすく説明していただき、参加者の皆さんは傾きながら終始耳を傾けていました。



「立志」に込めた思いを発表

2月4日(土)、深川中学校で恒例の「立志式」が挙行されました。生徒たちは一人ずつステージに立って、保護者や1年生に向けて自ら立てた志を宣言しました。白澤校長先生からは、「一歩を踏み出す勇氣」、「日ごろの習慣の大切さ」などの生徒へのメッセージが贈られました。

生徒との熟議

同日、学校運営協議会も開かれました。その中で「よりよい地域を考える」をテーマに生徒との熟議を行いました。生徒会執行部と専門委員長たちがとても活発に意見をのべる姿に感心しました。特にその中で印象に残ったことは、生徒たちはもつと地域の人と会話をしたい、交流をしたいと思っていることがひしひしと伝わってきたことです。われわれ地域の大人として、是非、その実現に力を尽くしたいですね。



生徒の思いが伝わる熟議



新しい「ハーモニー」を披露



未来に向けた決意表明

大津STEAMプロジェクト 「春会」はるかひ〜へおいでませ!

3月
21日
火・祝

中央公民館大講堂にて、昨年の「夏会」に引き続き大津緑洋高等学校「大津STEAMプロジェクト」チームによる「春会」が開催されます。

地元の高校生がふるさと長門の地域創生に挑む姿、高校生たちのパワー、その思いのこもった言葉を地域の方々にも是非感じてほしいと思います。【10時〜14時30分】(申込不要)

当日、屋外テントでは、昨年話題となった「御手玉わさび」(わさびいなり)や小学生が開発したおにぎりの販売に加え、チームNGTなど複数出店予定とのこと。また、お子様向けアクティビティ体験コーナーや「市民サポートながと」もご利用になれます。

なお、車でご来館の方は、市役所駐車場か湊漁協西側駐車場をご利用ください。

大津STEAMプロジェクト
2/4 やまぐち探究サミット
県知事賞(最優秀)受賞!
～自らの手で地域経済を循環させたことなど日頃の探究学習の成果を発表～



表彰式



夏会

「地域協育ネット」活動の様子

1月〜2月にかけて、深川小、向陽小で計15回、工作、茶道、裁縫、空手、箏、和太鼓、華道、昔遊びなど、多岐に渡る体験活動が地域の方々のお力を借りて実施できました。とくに和太鼓体験では、みずと音頭を育てる会「青波」から7名の方のご協力のもと1人1台の太鼓を準備いただきました。また、昔遊び体験では22名の地域の方々とともに楽しいひと時を過ごすことができました。



日本の楽器に親しむ「箏」



3年生 和太鼓体験



1年生 地域の方と昔遊びで交流

